

## 阿用の将来を担う

### 後継者を育成しよう！

#### 1. 若者が地元で定住できる環境づくり

- 若者の企画・運営によるイベント開催
- 学生在校家庭との交流 など



#### 2. 阿用の魅力を発信（PR）

- 名所・旧跡のPR
- 若者から見た阿用の魅力発見 など

#### 3. 地域で子育て、阿用の子供たちの応援

- 通学合宿・野外授業（米、野菜、間伐など）支援
- 子育て世代との交流、情報交換、課題解決 など
- 読み聞かせボランティア、三世代交流



#### 4. 阿用小学校の魅力発信

- 小規模校ならではの特性を学校、保護者と検討する
- 児童・保護者・学校と双方向の情報交換 など

#### 5. 生き甲斐づくりの支援

- 趣味等の教室開催（パソコン、書道、俳句、読書 等）
- 体験型教室の開催（料理、手芸 等）



## 第2次阿用地区振興計画

### 阿用の美しい景観を守り

地区民のつながりを大切に

健康で心豊かな阿用を創造しよう



平成30年度～34年度

## いつまでも住み続ける ことのできる地域を作ろう

### 1. 美しい阿用の里山・集落景観を将来に引継ぐ

地区内では、完全無農薬による農作物やエコ米（減農薬）を作って環境保全に寄与する農業が行われています。付加価値を高めることで、持続可能な農業経営を目指すことも重要です。

農地の維持管理には、定期的な草刈りは欠かせません。中山間地では畦畔が高く、急傾斜で、高齢者にとっては重労働かつ危険な作業です。

地区内で草刈り隊を編成し、派遣することを検討します。

- 環境保全・維持型農業で米（農産物）の産地化を目指そう
- 農地維持管理の為のお助け隊（草刈り隊）設置の検討
- 集落営農組織設置の検討

### 2. 地域の継続的発展のために、定住対策に取り組む

少子高齢化が進み、若年層の比率も年々下降傾向にあります。更に空き家が一層増えることも予想されます。一方で近年都市部から地区内に移住する世帯もあり、その対応も不可欠です。

- Uターンしやすい環境づくりを確立します。
  - ・空き家情報の提供
  - ・子どもの教育環境情報の発信
  - ・移住後の生活支援プログラムの作成

### 3. 安心して暮らせる地域防災体制の確立

近年のゲリラ豪雨や地震・積雪などを想定し、避難訓練等によって日頃から速やかに避難できる習慣を付けることが急務です。

近年の災害の教訓を活かして、被害を出さない取組み、防災意識を高める取組みを進めます。

- 自治会の防災計画の策定を行います。
  - ・ハザードマップを利用した避難経路の確認
  - ・緊急時連絡体制、要支援者支援体制の確立
- 防災意識高揚の取組み
  - ・研修会の開催、避難訓練の実施

## 安全・安心して暮らせる 阿用の郷をめざして

### 1. 地域みんなで支えあう小地域ネットワーク事業の推進

- 様々な角度からの高齢者見守り支援の充実
  - ・自治会の福祉委員を核としての見守り支援
  - ・配食サービスを通しての安否確認・見守り支援（栄養改善含む）
  - ・お助け隊、有償ボランティアによる見守り支援

### 2. サロン活動の推進

- サロン活動を通しての仲間同士の信頼と絆づくり
  - ・自治会でのサロン活動への理解、推進
  - ・サロンの充実（男性への呼びかけ）

### 3. 健康長寿の郷づくり事業の推進

- 誰もが健康で生き甲斐のある毎日をおくる
  - ・高齢者がいきいきと活躍できる居場所づくり
  - ・高齢者交流会の開催
  - ・定期健診、がん検診の啓発活動（検診率向上）
  - ・地域での健康意識向上（健康講演会の開催）
  - ・認知症地域支援活動（認知症サポーター養成講座等）
  - ・在宅介護者家族の支援（阿用おしゃべり喫茶開催）

### 4. 安心・安全な地域づくりの推進

- ・交通安全の取組み（テント村、交通安全教室等）
- ・地域安全推進委員会の取組み（通学路見守り支援等）

### 5. 健康で心豊かな人づくり

- ・健康体操の普及、推進（アヨさん体操等）
- ・地区民運動会、各種スポーツ大会の開催